

長畝ふるさと通信

【2015年7月号】

■ カラ梅雨でした・・・



7月も20日には梅雨明け宣言。その間雨が降ったのはたったの3日。21日のコシヒカリの生育調査では「草丈は並、茎数はやや多い、生育進度は並、葉色は並、出穂期は平年並み」の予想です。後期栄養補給に追肥をし、あとは8月10日頃の出穂期から登熟期までたっぷりと水を与えてやれば今年も美味しいお米ができるはず・・・ですが・・・問題は雨。まとまった雨が降ってダムの貯水量が満たされれば豊作間違いなし！

神様、仏様、何卒宜しくお願い致します。(写真は7月28日、穂揃いしたこしいぶきです。)

■ 他産地に学ぶ

7月14～15日、栃木県へ視察研修に出かけました。主な目的は民間稲作研究所の有機稲作栽培技術の視察です。「コメを高く売りたいんじゃない。子供達に安全な食糧を食べさせたいだけ・・・」と胸を張る生産者。辺り一面のひまわりは菜種や大豆と一緒に地元還元肥料とするために栽培しています。また、絞った油は「親子でマイ・オイル会員」を募集して販売するそうで、これまた人気だそうです。ほとんどのエネルギーを島外に依存している佐渡にとって本来地元でエネルギーを自給する取り組みは不可欠。これからの課題です。



渡良瀬遊水池では見事な田んぼアート。なぜかトキが描かれています。佐渡でも取り組んでみたい田んぼアートですが、この規模で250万円ほど経費がかかるそうで、ただただ驚くばかり。それにしても農業の魅力は単に食糧生産だけではなく、地域と密着して多様な取り組みが実践できると言うことをあらためて実感した次第です。やる気があれば何でもできるって事ですか。

■ 大阪商談会

7月26日、大阪なんばで開催されたコメ商談・交流会に参加してきました。北は青森「青天の霹靂(へきれき)」から新潟・魚沼コシヒカリ、岐阜の「龍の瞳」。広島・庄原のアイガモ米は今流行のドローンで空から撮影した田んぼの風景をプレゼンしておりました。どの産地も地元の特徴を最大限生かして差別化・ブランド化した強者ばかり。はっきり言って圧倒されっぱなしです。



消費者のみなさんに支持されるにはもっともっと知恵と努力が必要と思われ知らされた次第です。



写真は商談会の合間に訪問させていただいたお得意様のお店。清潔感にあふれ、産地ごとに丁寧な説明が行き届いた素晴らしいお店でした。「来年もよろしく」と言われ、大阪の猛暑も一度に吹っ飛ぶほど嬉しくてたまりませんでした。

それにしても大阪のきつねうどんはうまい。毎日食べておりましたが、一向に飽きません。また食べに行きたい・・・。

■ 27年産米 年間玄米予約会員を募集します。引き続きご愛顧下さい。

TPP交渉も大詰めを迎えてきました。「聖域無き関税撤廃を前提とする限り、TPP交渉参加に反対する」ことを政権公約にかかげた第1党は果たして約束を守れるのでしょうか。消費者のみなさんにより美味しく、安心して食べて頂けるおコメづくりにボクたちは努力を惜しみません。しかし、その努力も根底から覆す黒船が襲来したら・・・。日本の主食はおコメです。せめてコメぐらい国産で賄う国にして下さい。みなさんの体はみなさんの食べたものでできています。これからも日本人として日本のおコメを食べましょう。そしてできれば佐渡・長畝のおコメを・・・年間予約申込書を同封致しますので、何卒宜しくお願い致します。

おかわりは自由です。

今春、就航したカーフェリー「ときわ丸」の甲板にはためく日本国旗。5年後には東京オリンピックで日本国旗が毎日表彰台を飾ることでしょう。その原動力は日本人の心・おコメでしょ。

コメ食って頑張れ！ニッポン！

